授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態
医療倫理学Ⅲ	必修	1	2	3		日本語		単独

【担当教員】 今井浩光

【科目名の英文】 Medical Ethics Ⅲ

【授業の概要・到達目標】

応用倫理として、医学研究倫理、公衆衛生の倫理、薬害を巡る倫理、の三つのテーマを扱う。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 医学研究倫理の基本的な考え方と、各倫理指針の概要を説明できる	○			○	○	○
2. 公衆衛生倫理の歴史と概念を生命倫理と対比して説明できる	○			○	○	
3. 主な薬害の歴史とその教訓を論述できる	○			○	○	
4.						
各 DP への関連度 (計 10)	2			5	2	1

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	医学研究の倫理	研究公正と研究倫理の考え方	医療倫理学・今井	対面
2	公衆衛生の倫理	公衆衛生倫理の歴史と政治哲学の視点	医療倫理学・今井	対面
3	薬害①	主な薬害とその成因	医療倫理学・今井	対面
4	薬害② (特別講演)	薬害と医師の責任 ―筋短縮症を中心に	学外講師	対面
5	薬害被害者講演	薬害を負って生きることの語り	薬害被害者	対面
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

【アクティブラーニングの内容】 事例検討課題を課し、それについてのレポート作成を行う	【その他の工夫】 動画教材を活用する
--	------------------------------

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	医療・医学研究に関する時事問題について情報を収集する (11h)。
事後学修	収集した情報について、授業で学んだ考え方や倫理的観点から考察する (12h)。
想定時間合計	23

【教科書】

資料を配布する

【参考書】

医学・生命科学の研究倫理ハンドブック第2版 神里彩子・武藤香織編 東京大学出版会 2023年

ISBN : 978-4-13-062424-4

【成績評価方法及び評価の割合】 筆記テスト 90%、受講状況・レポート 10%		
【注意事項】		
【備考】		
リンク		
	URL	
教員の実務経験の有無	有	
教員の実務経験	附属病院の医師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	有	
教員以外の指導に関わる実務経験者	市中病院の医師	
実務経験をいかした教育内容	診療場面や臨床研究の実務で起こる倫理的課題を教育内容に取り入れる	
授業形態	対面で行うが、一部リモートで実施する可能性もある	